

今回の定例会

12月

3月

9月

6月

とのしょう

議会だより

～ 3年ぶりの開催 冬空のもとで颯爽と ～

瀬戸内海タートル・フルマラソン全国大会



令和5年 2月発行

第 **91** 号
議会だより

12月定例会を開催しました	2
令和3年度決算を認定	6
委員会の活動報告	9
一般質問（6人の議員が町政を問う）.....	11
まちの元気印（オリーブの島児童合唱団）.....	18

発行／土庄町議会 編集／議会広報特別委員会
香川県小豆郡土庄町淵崎甲1400-2
TEL (0879) 62-7011（議会事務局）
FAX (0879) 62-8303



（録画配信の視聴）



（町ホームページ／土庄町議会）

物価高騰対策支援に係る 補正予算などを可決

令和4年度一般会計補正予算(第4号及び第5号)
3億1990万9千円の増額



総額 99億2025万1千円

～主な補正予算の内容～

非課税世帯等に対して、価格高騰
対策として支援金を給付



1億
5301
万円

18歳以下の子育て世帯に対して、
児童1人につき1万円を支給



1735
万円

物価高騰等で厳しい状況にある
町内事業者の営業継続を支援



7272
万円

少子化対策として、伴走型相談支援
と経済的支援を行う費用



670
万円

審議案

12月定例会は12月15日に開会し、12月22日に閉会しました。専決処分1件、補正予算4件、条例2件、規約関係2件、契約2件が提出され、専決処分と規約関係を除く議案は委員会付託による審査を経て、すべて原案どおり可決しました。また、議員発議による特別委員会の設置1件を否決、継続審査としていた請願1件を否決、意見書1件を否決、その他動議等を可決しました。9月定例会で設置した決算特別委員会に付託されていた令和3年度各会計決算は、全ての決算を認定しました。
一般質問では、6人の議員が町政について質問を行いました。

本会議での討論

一般会計補正予算(第5号)

反対 福本耕太議員

マイナンバーカードを使用するための整備費用については、マイナンバーに反対する立場から反対。

賛成 濱野議員

委員会に付託され、可決すべきと決しているので賛成する。

反対 鈴木議員

先頃も、3万5千人分の情報漏洩があったと報道された。マイナンバーの危険性は解消されていないので関連予算に反対。

付託審査での主な質疑

職員用PCの更新

《濱野》一度に多くの台数を購入することだが、次の更新時期など、計画的に考えているか。

《総務課》今回は、古いPCを50台入れ替える。財政負担を考慮して、計画的に更新作業を行っていく。

財務会計システムの改修

《鈴木》見える化のためのシステム改修とはどのようなものか。

《企画財政課》総務省主導の下、全国の自治体の単独事業経費を把握するために財務会計システムを改修するものだ。

第一次産業PR動画作成

《鈴木》動画の発信方法は。

《農林水産課》島外イベントやホームページ等で活用する。

《濱野》作成にあたり、地域おこし協力隊員の協

力はどうか。

《農林水産課》島内業者に委託する予定だが、隊員にも作成に関わってもらいたいと思う。



こども園内での使用済み紙おむつ処分

《井藤》事業開始はいつか。

《教育総務課》12月中旬に整備し、1月から実施する計画だ。

不育症治療費助成

《福本耕太》助成対象として「町税を完納していること」とあるが、分納している場合は対象になるか。

《健康福祉課》助成対象とする。

《健康福祉課》助成対象とする。

不採択

「香川県主要農作物等の種子条例の制定を求める意見書」の提出を求める請願

※要旨等は議会だより第89号に掲載。

討論

反対 井上議員

2回の勉強会に参加し、県の対応状況を確認した。精査した結果、現状で条例の制定を求めることは必要ない。

賛成 鈴木議員

種子は食料の根幹にかかわる大事なものだ。安全安心・安定供給が大前提で、経済の原理に引きずられてはいけない。主要作物を守るために種子条例は必須である。

反対 福本達雄議員

種子法廃止後、県は要領及び細則で対応している。現場等から問題が起きてきているのは聞いていない。

賛成 大野議員

この件については、たいへん難しい問題である。日本の農業を守ることが原点であり、他府県でも意見書が取り上げられているので賛成する。

反対 濱野議員

農業者等への確認や勉強会を通じ、種子を管理、継承していくことの大変さは理解した。しかし、県は種子法廃止前の方針を変えないということであり、種子条例の具体的な必要性が感じられない。公的資金の不安等の今後に関しては、種苗法に則り対応するのが現実的と考える。

賛成 福本耕太議員

種子法の廃止は、低い食料自給率をさらに引き下げる危険性がある。特に、わが国の食料主権がアメリカ農業資本に侵される可能性があり、条例の制定は、県として食の安全を保障する役割を持つ。

否決

反撃能力（敵基地攻撃能力）保有の中止を求める意見書

提出者：鈴木美香 賛成者：福本耕太、大野一行

質疑

《濱野》「専守防衛を根幹から破壊する」とのことだが、そのような事実があったのか。

《鈴木》相手国の中心まで届く攻撃能力を保有するということは、先制攻撃であると認識している。

討論

反対 濱野議員

専守防衛の立場は崩していない。また、防衛の装備については国会の場で討論するべき。

賛成 大野議員

この議会でも、ロシアウクライナ戦争に対して戦争反対の決議をした。戦争をしてはならない。憲法9条のもと、平和を追求することが番正しい道である。敵基地攻撃論については、納得がいかない。

賛成 福本耕太議員

日本国内の米軍基地が攻撃されると判断した場合、他国から攻撃を受けていなくても先制攻撃することが可能であると首相ははっきり言っている。この点で専守防衛を壊すものと認識している。

また、物価が上がって多くの国民が苦しんでいる中、軍事費を増やし、国民を飢えさせて戦争の準備をするのはばかげている。

本ページでは、12月定例会で行われた懲罰等に関することを掲載しています。

「福本耕太議員の発言の取消及び謝罪を求める動議」→「福本耕太議員に対する処分要求の件」
→「三木議員に対する処分要求の件」の順に議事が進みました。

福本耕太議員の発言の取消及び謝罪を求める動議

可決

【趣旨】

令和4年12月15日の本会議において、福本耕太議員が三木議員について言及した発言は事実誤認であるので、当該発言の取消と謝罪を求める。

提出者：三木俊明

【福本耕太議員による弁明】

事実誤認はしていないので、発言の取消や謝罪をする必要はない。

【討論】

鈴木議員
反対

両議員の説明それぞれに納得できる場所があった。しかし、このようなことを議会に上げて大事にするのには疑問がある。

井藤議員
賛成

三木議員の趣旨説明のとおりであり、議会で取り上げるべきだ。

【結果】

本動議は可決され、福本耕太議員に発言の取消と謝罪を求めることが決定した。
(※本動議の可決をもって、ただちに発言が取り消されるものではない。)

発言取消内容の検討

動議が可決されたことを受けて議会運営委員会を開催し、発言を取り消すことの可否及び発言取消箇所を議論しました。

発言の取消

福本耕太議員に、自らの申し出により発言の取消及び謝罪をする意思があるか確認したところ、その意思は無いとのことでありました。

よって、地方自治法第129条第1項の規定に基づき、議長から当該発言の取消を命じました。

本ページの内容は、議員の名誉に係ることです。発言を皆さ
まに正確にお伝えするため、簡略化した概要のみを掲載してい
ます。詳細はホームページで公開している会議録をご覧ください。
(2日目、12月22日会議録全文123ページ)
※三木議員が指摘した福本耕太議員の発言箇所については、
発言の取消を命じたため、公開されていません。(1日目、12月
15日会議録全文40ページ)



三木議員から処分要求が提出されました。
その後、福本耕太議員から処分要求が提出
されました。

福本耕太議員に対する処分要求の件

提出者：三木俊明

継続
審査

【趣旨】

先の福本耕太議員の発言は私への侮辱にあたる。

【福本耕太議員の弁明】

三木議員の主張は事実ではない。

三木議員に対する処分要求の件

提出者：福本耕太

継続
審査

【趣旨】

三木議員による処分要求は私への侮辱にあたる。

【三木議員の弁明】

会議規則に則り、粛々と議論し、決定いた
きたい。

本件は同日に設置された懲罰特別委員会に
付託され、継続審査となりました。委員会では、
本件に関してそれぞれの議員に懲罰を科すべき
か否か、科すべき場合はいずれの懲罰を科すか
を審査します。

※懲罰の種類 ①公開の議場における戒告、
②公開の議場における陳謝、③定期間の出席
停止、④除名

※処分要求とは（地方自治法第133条）

本会議又は委員会での議員から侮辱を
受けた議員は、議会に訴えて処分（懲罰）
を要求することができる。

【提案理由】

前町長による不正・背信行為等を調査するべきであり、議会が独自に調査、報告、再発防止策を提案し、確立することは、議会の責任である。また、公務員法に基づく行政運営の徹底と、行政の歪みを正す具体策、再発防止策を講じるためにも、本委員会を設置しようとするものである。

提出者：福本耕太 賛成者：鈴木美香、大野一行

質疑

《三木》 目的は前町長に関する何らかの結論付けか、又は行政の事務執行に関する精査なのか。
《福本耕太》 前町長の違法行為等を調査し、住民に報告し、再発防止策を出すことだ。
《三木》 本委員会設置根拠である地方自治法第98条第1項では、行政の事務執行に関する調査しかできないが、どう考えているか。
《福本耕太》 提案している特別委員会で調査することはできる。なぜ、町長の不正に対して調査する権限がないと言われるのか理解ができない。議会としてまず第一歩を踏み出すことが目的だ。

討論

反対 濱野議員

総務建設常任委員会で審議することを考えている。また、近々第三者委員会からの答申も出る。それを基に各議員の意見を出し、精査を進めるべき。

賛成 大野議員

官製談合事件については、行政側は誠心誠意取り組んでいる。しかしながら、過去の議会でチェックすべきことができないまま事件に至った。議会が本来のチェック機能として働かなければいけない。

賛成 鈴木議員

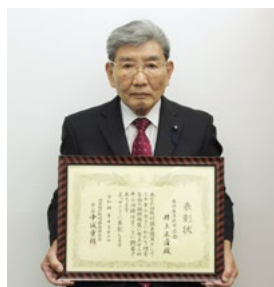
前町長の問題は談合事件だけではない。独断専行のような事業が多々見受けられ、それらは今なお、町行政に負担を強いている。不透明で疑問を持たれる町運営のイメージを払拭するためにも調査すべき。

賛成 福本耕太議員

総務建設常任委員会で行うべきと言っているが、1年間全く取り組んでいない。また、第三者委員会は官製談合の件だけである。私たちが提案しているのは、住民に対する虚偽発言であるとかを含めた調査である。

自治功労表彰

10月13日に井上正清議員が、20年にわたり地域の振興発展に顕著な功労があったとして、四国地区町村議会議長会から表彰を受けました。



【自治功労者】 井上正清議員

議会の動き

令和4年10月22日（令和5年1月21日）

1月	12月	11月	10月
19日 懲罰特別委員会	12日 議会広報特別委員会	30日 小豆郡町議会議長会定例会	24日 総務建設常任委員会
23日 小豆地区広域行政事務組合議会定例会	22日 懲罰特別委員会 全員協議会 議会運営委員会 12月定例会本会議	28日 香川県後期高齢者医療広域連合議会定例会	30日 小豆島中央病院企業団議会臨時会
	15日 総務建設常任委員会 教育民生常任委員会 議会運営委員会	15日 香川県広域水道企業団議会定例会	14日 小豆地区広域行政事務組合議会臨時会
	8日 12月定例会本会議	2日 小豆郡町議会議長会定例会	14日 香川県広域水道企業団議会定例会
			30日 総務建設常任委員会 教育民生常任委員会

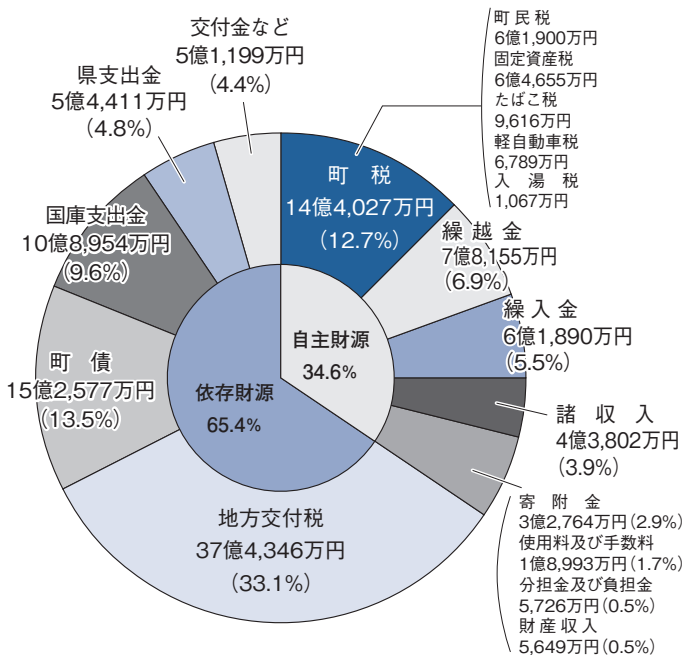
年度決算を認定

予算がどのように使われたか審査

決算特別委員会を10月4日から12日にかけて開催し、令和3年度の一般会計、特別会計の決算を審査しました。

令和3年度一般会計の決算は、歳入総額113億2,493万円(前年度比13.3%減)、歳出総額100億475万円(前年度比14.7%減)となった。前年度から累積する繰越金や財政調整基金繰入金などの黒字要素および赤字要素を除いた差引額(実質単年度収支)は、2億2,716万円の赤字となった。

また、令和3年度の財政調整基金残高は2億4,395万円増の約18億1,840万円、一般会計の町債残高は、大型建設事業等による地方債の発行額が増加したことにより、前年度比約4億286万円増の130億1,485万円となった。



一般会計 歳入

113億2,493万円



委員会での主な質疑

消防団員報酬

《小川》報酬の個人への支払いはいつから開始か。

《総務課》報酬額の見直し等を行ったうえで、令和4年度から個人へ直接支給している。

路線バス

《井藤》補助金は、路線バスの利用者によって補助率が変わるのか。

《企画財政課》そうだが、利用者状況が悪化するほど、補助率が下がる。

高齢者への見舞品

《鈴木》寝たきりの高齢者への見舞品は何を贈ったのか。

《健康福祉課》タオル等の生活用品だ。

町税収入へのコロナの影響

《大野》個人町民税の収入額はあまり変わらないようだが、コロナの影響はあるか。

《税務課》町民税が約1400万円減少しているが、納税義務者数の減によるもので、直接コロナの影響といえるかの分析はできていない。

やさしい工房の応募状況

《大野》工場について、

事業者の応募が無いようだが、今後の計画は。

《農林水産課》令和3年度に2回公募したところ、数件見学はあったが応募はなかった。令和4年度にも公募し、数件問い合わせがあった。今後も公募を続けていく。

豊島のレンタサイクル

《井藤》豊島のレンタサイクルが町単独の事業であるのはなぜか。

《商工観光課》瀬戸芸の際、観光客の移動手段を確保することが目的で始まった。民間事業者の場合、収益次第では辞める可能性がある。より良い方法を検討していきたい。



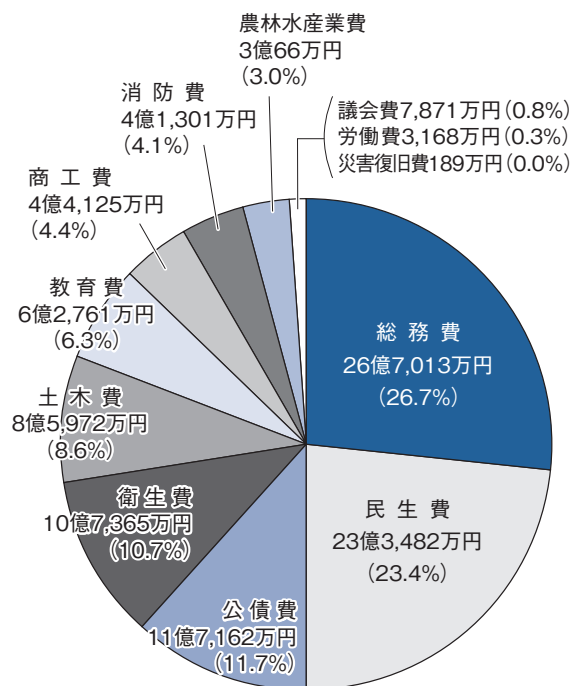
◆財政調整基金（一般会計）の残高



◆町債（一般会計）の残高



各会計の令和3



一般会計 歳出

100億475万円

決算認定に対する 本会議での討論

反対 福本耕太議員

1 現在の同和事業による偏った制度、教育に反対。
2 マイナンバー制度に反対。
3 コロナ関連予算において、町の都合で支援を受けられない住民が多数いた。

4 次世代型産業モデル事業は住民への十分な説明もなく、民主的な行政運営といえない。
5 旅費の費用弁償について、宿泊費の定額支給はやるべき。

6 町長、議長の交際費の詳細を公開すべき。

賛成 福本達雄議員

委員会、執行部から詳細な説明を受け、疑議のある点は各委員から質問し、審査の結果、認定するものとされたので賛成。

反対 鈴木議員

マイナンバー関連の事業予算について、漏洩の危険性から反対。また、コシノジュンコ氏の1千万円を超える予算は必要不可欠な事業なのか疑問がある。

決算特別委員会からの主な意見

- ・ 遊休施設の有効活用については、民間の力を借りるというののもつ方法だと思う。若手グループでの意見交換も含め、さまざまな角度から検討してほしい。
- ・ 人員を増やすように取り組んでほしい。
- ・ 結婚新生活に対する補助を町の事業で行うよう検討してほしい。
- ・ マイナンバーの安全確保は常に念頭においていただきたい。
- ・ 小瀬、千軒はとも景色が良く道路も広いので、観光に活用してほしい。
- ・ エンジェルロードは観光客数が多くなり、駐車場で客同士がもめることもある。改善が必要と思う。
- ・ 残業が多い課がある。職員を増やせないのであれば、事業の見直しを考えていただきたい。

12月定例会の審議結果と賛否

●賛否の分かれた議案

議案等	議決結果	関連ページ	小川務	井藤茂信	大野一行	鈴木美香	福本達雄	三木俊明	濱野良一	福本耕太	川本貴也	井上正清	木場隆司	高橋正博
令和3年度の一般会計及び特別会計の歳入歳出決算の認定（一般会計のほか8つの特別会計の歳入歳出決算を認定するもの）	認定	P6 P7	○	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	-
令和4年度一般会計補正予算（第5号） （1億7,247万9千円を追加し、総額99億2,025万1千円とする）	可決	P2	○	○	○	●	○	○	○	●	○	○	○	-
前町長による不正・背信行為等を調査する特別委員会の設置（特別委員会の設置を求めるもの）	否決	P5	●	●	○	○	●	●	●	○	●	●	●	-
反撃能力（敵基地攻撃能力）保有の中止を求める意見書について（国に対して意見書を提出するもの）	否決	P3	●	●	○	○	●	●	●	○	●	●	●	-
「香川県主要農作物等の種子条例の制定を求める意見書」の提出を求める請願（県に対して意見書の提出を求めるもの） ※6月定例会で提出	不採択	P3	●	●	○	○	●	●	●	○	●	●	●	-
福本耕太議員の発言の取消及び謝罪を求める動議（発言の取消と謝罪を求めるもの）	可決	P4	○	○	●	●	○	○	○	/	○	○	○	-
懲罰特別委員会の設置（特別委員会の設置を求めるもの）	可決	P4	○	○	●	●	○	○	○	/	○	○	○	-

○：賛成 ●：反対 欠：欠席 /：除斥 -：議長（議長は採決に加わりません）

●全会一致で可決した議案

○専決処分	
令和4年度一般会計補正予算（第4号） （1億4,743万円を追加し、総額97億4,777万2千円とする）	承認
○令和4年度補正予算	
国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号） （27万7千円を減額し、総額19億2,916万6千円とする）	可決
介護保険事業特別会計補正予算（第3号） （243万3千円を減額し、総額21億6,198万3千円とする）	可決
福祉サービス事業特別会計補正予算（第2号） （230万6千円を追加し、総額9,162万4千円とする）	可決
○条例の新規制定	
議会議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例 （選挙費用の公費負担に関して必要な事項を定めるもの）	可決
○条例の一部改正	
税条例の一部改正 （老朽危険空き屋を除却したことによる土地の固定資産税の増額分について減免を行うもの）	可決
○契 約	
工事請負契約の締結 （社会資本整備総合交付金）町道沖之島線道路整備工事（橋梁下部工）（第2工区） 契約者：株式会社 トミウン、契約金額：1億9,917万5,900円）	可決
工事請負契約の締結 （刈崎都市下水道事業 大谷ポンプ場幹線整備工事（1工区） 契約者：有限会社 東口組 契約金額：9,097万円）	可決
○その他	
香川縣市町総合事務組合規約の一部変更 （香川県中部広域競艇事業組合が名称変更するため、関係団体との協議を行うもの）＜土庄町＞	可決
香川縣市町総合事務組合規約の一部変更 （香川県中部広域競艇事業組合が名称変更するため、関係団体との協議を行うもの）＜大鐸財産区＞	可決
○議員発議	
福本耕太議員に対する処分要求の件 （関連ページ：P4）	継続審査
懲罰特別委員会の委員の選任 （委員9人を選任：議長及び処分要求提出者2名を除く議員）	選任
三木俊明議員に対する処分要求の件 （関連ページ：P4）	継続審査



【企画財政課】

旅先納税 ＜とのしょうe街ギフト＞

観光に来て、自治体に寄付をする
と地元で使える電子商品券をその
場で受け取ることができる「旅先で
できるふるさと納税（旅先納税）」の
導入に向けて取り組んでいる。

土庄町の主要産業である観光関
連産業は、ふるさと納税制度の恩恵
を受けにくかったが、この仕組みは
効果的である。制度導入自治体と
連携し、旅先納税自体を旅の楽しみ
にできるよう促進していきたい。

※12月22日運用開始

問 【鈴木】事業費は。

答 初期導入費用は約380万
円。ランニングコストは、システ
ム料が寄附額の9.5%、加盟
店の取り扱いなど運用に係る
経費が6.5%である。

問 【鈴木】事業者の協力状況は。

答 現在、取り組みに向けて募
集している。町内の主要な宿
泊業者、交通関係、飲食業等
30社以上から協力を得られる
予定である。

問 【鈴木】事業者の初期投資は
どこが負担するのか。

答 事業者の初期費用は無い。
電子決済に使用する電子スタ
ンプを貸与する。

【農林水産課】

飼料価格高騰対策支援

昨今の燃料価格の高騰、円安な
どさまざまな影響により、飼料作物
の価格が上昇しており、畜産農家に
深刻な影響を及ぼしている。

これを緩和する措置の一環とし
て、支援金を支給する。

【総務課】

旧戸形小学校の跡地利用

旧戸形小学校跡地の利活用に係
るサウンディング型調査を行う。本
調査は、公有地等の活用方法につ
いて、民間事業者から広く意見や提
案を求め、対話を通じて市場性等を
把握するものだ。

今後、現地説明会の実施、対話
への参加申し込みを経て、令和5年
2月に応募のあった事業者との対話
による調査を実施する予定としてい
る。地元自治会に対しては、9月に事
前の説明を実施し、了解を頂いてい
る。

問 【三木】説明会への申し込み
状況は。

答 現時点で正式な申込は無い
が、問い合わせは数件ある。ま
た、現地説明会に参加せずと
も、対話による調査へ参加す
ることができる。

意 【大野】地元の了解を得てい
るということで、段取りを踏
んで頑張してほしい。

【建設課】

湊崎都市下水路事業

大谷ポンプ場整備の令和4年度
施工内容は、県道屋形崎小江湊崎
線内（大谷バス停付近）にポンプ場
へ雨水を導くための管渠工事を行
い、翌年度以降も引き続き管渠整備
を行う予定である。

管渠延伸に伴い雨水集水エリア
が拡大するため、ポンプ場の排水施
設も併せて整備する必要がある。

問 【大野】国の補助はあるか。

答 国の補助事業であり、40%
の補助がある。

【商工観光課】

劇場版「からかい上手の 高木さん」小豆島上映

令和3年度に香川県の文化芸術
新人賞を山本崇一朗さんが受賞さ
れたことを記念して、毎年、県が実
施している「さぬき映画祭」の開催
に併せた映画上映を行う。

香川県ではイオンシネマ綾川でし
か上映しておらず、コロナ禍もあつて
小豆島の方は見るのが難しかった
のではないと思う。ぜひ、この機会
に小豆島で映画を見ていただきたい。

開催日の2月4日、5日にレクザム
ホール、イオンシネマ高松東で上映
する。小豆島上映は2月の中旬辺り
を予定している。

【税務課】

老朽危険空き家除却後の土地に 係る固定資産税の減免

住宅用地の固定資産税は、特例
措置により軽減されているが、住宅
を取り壊すと、この軽減がなくなり税
額が元に戻るため、これが、空き家
が放置される一因になっているとい
われている。

町の老朽危険空き家除却支援事
業補助金を利用して除却した場合
に、土地の固定資産税を一定期間
減免する制度を設け、税制面からも
老朽危険空き家の除却促進を支援
する。

問 【鈴木】周知方法は。

答 対象者には案内文を直接送
付し、制度の周知は広報誌等
で行う。

問 【大野】行政におけるメリット・
デメリットは。

答 メリットは、安全面、防犯面
での住環境の整備、デメリット
は税収の減少である。また、減
免期間が長いとそのまま放置
されて適切な管理がなされな
い可能性が生じ得る。



11月30日開催

教育民生常任委員会

【教育総務課】

児童・生徒用タブレット端末の活用状況

現在、児童生徒が取り組んでいることを報告する。

まず、AIドリルについて、児童生徒の理解度に応じた問題を反復、また自動選択で表示するなどの機能を持たせたものである。

メリットとして、先生方は子どもの学習状況を把握し、どの問題でどうつまづいているかを確認できる。子どもたちにとっては、自身の興味・関心による予習復習、自主学習ができるようになる。

タブレットは万能ではないので、紙と併用する等うまく使うため、今後も学校と相談しながら進めていきたい。

問 【井藤】タブレットはドリル専用なのか。また、家庭での利用はどうか。

答 専用ではない。AIドリルを活用しながら、学校ではいろいろな使い方をしている。

来年度に家庭での通信について計画をしている。

【健康福祉課】

出産・子育て応援交付金

安心して出産・子育てができる環境整備のため、子育て家庭に寄り添い、出産・育児等の見通しを立てるための面談や継続的な情報発信等を通じて必要な支援につなぐ伴走型相談支援の充実を図る。また、出産育児関連用品の購入助成及び支援サービスの利用負担軽減を図るなどの経済的支援を行う。

この2つの支援を一体的に実施することで、相談実施機関へのアクセスがしやすくなり、必要なサービスに確実に結びつき、事業の実効性が高まるものと考え。

問 【小川】移住者の方から「頼る所が無い」という声を聞いた。対策はあるか。

答 困り事相談等、同様に対応できる。また、子育て支援室への案内がコロナ禍のために周知できていなかった部分がある。訪問や電話で相談をしているが、声が届いていなかったかもしれないので、周知を図っていきたい。

【住民環境課】

一般廃棄物最終処分場

これまでに挙げた8か所の候補地について、課題等をまとめて選定を進めた。

結果として、候補地を小部、柳、畝木、伊喜末の4か所に絞ってさらに調査を進める。いずれの候補地においても、調査や地元協議に相応の期間を要すると思われるので、中長期的にその他の方策も引き続き検討していく。

問 【川本】時間がかかるのは理解するが、その間、島外搬出を続けるのか。

答 島外搬出を続けるしか手段がないのが、現状だ。搬出先との交渉は確実にやっていきたい。



10月24日開催

議会活性化特別委員会

協議内容

- ・議会のペーパーレス化に向けて
- ・議会基本条例の策定

結論

- ・各委員会での審議において、ペーパーレス化を進める。使用中で改善点等をまとめ、より良い活用方法を検討していく。また、執行部とも協力して進める。
- ・議会基本条例については、委員会設置当初からの目的であるが、策定に至っていない。令和5年度の議員改選で本委員会は解散となるため、3月末までにこれまで審議した内容をまとめて一旦報告し、改選後の議員に継続して審議してもらうよう申し送りを行う。

一般質問

各議員の質問全文は、質問ページにあるQRコードを利用し、町ホームページでご覧ください。

	<p>おおの かずゆき 大野 一行 . . . P12</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆可燃ごみ、不燃ごみ、産業廃棄物の対策 ◆観光行政の課題とイベント等 ◆带状疱疹患者の実態と今後の課題を問う ◆土庄町におけるDV(ドメスティックバイオレンス)、子どもに対する虐待、学校内でのいじめ・暴力行為等々の現状認識を問う
	<p>おがわ つとむ 小川 務 . . . P13</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆官製談合再発防止委員会の進捗状況 ◆旅先でふるさと納税をする制度の進捗状況 ◆不育症治療費助成事業 ◆すこやかエンゼル祝い金の拡充 ◆おむつ定期支援の導入 ◆災害時等のWi-Fi設置
	<p>はまの りょういち 濱野 良一 . . . P14</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆アフターコロナへの経済対策 ◆歩行者(子ども)の安全確保の取り組み
	<p>み き としあき 三木 俊明 . . . P15</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆勇気を持って岡野色を 新年度予算方針 ◆自主財源確保は官民協働で
	<p>すずき み か 鈴木 美香 . . . P16</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆島環境を生かした学校づくり ◆総合福祉会館への商工会移転と関連する工事
	<p>ふくもと こうた 福本 耕太 . . . P17</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆学校給食無償化及び負担軽減にむけた取り組みを ◆物価高騰支援策として、大学生と専門学校生に一人1万円の支給を ◆旧土庄高校のグラウンドについて、一刻も早く使用できるよう整備を ◆民間住宅のリフォームに助成を ◆土庄港駐車場の無料化及び値下げを



可燃ごみ、不燃ごみ、産業廃棄物の対策について



おの かず ゆき
犬野一行 議員



問

前三枝町長のときに、一般廃棄物処分場の候補地選定について、およそ1億円近く使われている。この経緯について問う。

答

住民環境課長

平成29年から、馬越地区で調査を実施した。総事業費9572万3640円を支出した。

問

私の調査では、炭鉱地跡でもともと適していない土地と認識している。結果をどう受け止めているか。

答

住民環境課長

非常に残念な結果となった。先にボーリング調査判定後その後の調査に入るべきであった。そういう面では反省している。

意

個人的には、無駄遣いだと思っている。

問

豊島におけるごみ対策と破碎ごみ処理状況を問う。

答

住民環境課長

豊島のごみ処理はオリブ環境開発株式会社に業務委託している。正月やお盆など、回収しきれず、2、3日、ごみ回収できない場合もある。

破碎ごみ処理については、粗大ごみ及び不燃ごみ破碎選別処理施設を、令和8年4月からの操業を目指している。

観光行政の課題とイベント等

問

観光行政の課題とイベント等について問う。エンジェルロードは中心的な観光資源である。今後の駐車場対策を問う。

答

商工観光課長

現在、2つの駐車場と臨時駐車場に対応している。引き続き、エンジェルロード近隣に駐車場を設置することで、満車時の緩和と、町なかの活性化に努めたい。

問

小豆島の自然環境全てが資源になる。柳のオリブの木、重岩等、最近知名度が上

答

商工観光課長

がっている。「土庄層群」という文化的なところもある。将来どう考えているのか問う。

約4千万年前にできた地層と言われ、小豆島、豊島の一部に見られる。文化財指定となっている蕪崎（かぶらざき）断層もあり、貴重なものである。この層群の歴史的価値や成り立ちなど、観光資源という視点からだけでなく、文化財の保全や生涯教育など、幅広い視点での活用方法を模索するところから始まることになると思う。

意

おっしゃる通り、観光資源になりうる。観光資源として前向きに検討していただきたいと思う。



蕪崎の断層

その他の質問

- ・带状疱疹患者の実態と今後の課題を問う
- ・土庄町におけるDV（ドメスティックバイオレンス）、子どもに対する虐待、学校内でのいじめ・暴力行為等々の現状認識を問う



おがわ つとむ
小川 務 議員



官製談合再発防止委員会の進捗状況

問

官製談合再発防止対策検討委員会が、どのようなことに重点を置き、どのようなかたちで協議してきたか。また、今後の方向性は。

答

総務課長

委員長を中心に、委員会が主体となつて答申書を作成している。二度と今回のような事件が発生しないよう、再発防止対策を進めていきたい。

答

副町長

渡邊委員長が当初から宣言していたとおり、「事務局と事前協

議することなく、委員会として必要と考える再発防止策を答申する。高い目標を掲げていきたい。」との姿勢のもと、活発な議論を経て、多岐にわたる提言をいただいた。

答

町長

私自身、答申を重く受け止め、二度と今回のような事件が発生しないよう、職員一丸となつて再発防止対策に取り組む、町民の皆さまからの信頼回復に努める。渡邊委員長の指摘で、町長に過度の権限が集中していたとの言葉をいただいた。町民の皆さまが安心して豊かな暮らしを持続していくためのものであるか等について、常に職員の意見を聞き、議論を重ねながら行政運営を進める。

意

今後は議会で協議し、要望書も提出することとなるので、住民の意見として十分ご検討願いたい。

旅先でふるさと納税をする制度の進捗状況

問

北海道から沖縄まで導入されつつある旅先納税、最近では京都府の7自治体が導入した。現在の進捗状況は。

答

企画財政課長

観光関連産業が主要産業である当町にとつては、この旅先でできるふるさと納税の仕組みはたいへん効果的である。

四国地方初として、本日12月22日に運用開始した。今まで恩恵を受けにくかった観光産業や飲食業の活性化を目指し、今後も加盟店が広がるよう進めていく。

また、今後は小豆島町にも案内し、観光客目線で小豆島全体で使える旅先納税を進めていく方向で検討している。

問

現在、土庄町での加盟店はいくつか。

答

企画財政課長

本日時点で45店だ。

意

すぐには結果に結びつかないと思うが、観光業を盛り上げるため、小豆島、豊島に合った制度を設計していただければと思う。



電子決済の様子

その他の質問

不育症治療費助成事業
すこやかエンゼル祝い金の拡充
おむつ定期支援の導入
災害時等のWi-Fi設置

歩行者(子ども)の安全確保の取り組み



はまのりょういち
濱野良一 議員



問

全国では、子どもを巻き込んだ交通事故が後をたたない。道路整備が進む中、スクールゾーンを再認識し、子ども園や保育園などの幼児が散歩や校外での活動等で移動する際の安全確保を考える必要がある。今後の取り組みは。

答

教育総務課長

土庄こども園周辺では、スクールゾーンと趣旨のキッズゾーンを設定し、移動する際の危険箇所の確認や、保護者や子どもに向け



土庄こども園前

た安全教室などを行ってきた。こうした活動は、「土庄町通学路等交通安全プログラム」に基づき、関係機関で組織する「土庄町通学路等安全推進会議」において、保護者や児童生徒へのアンケート調査をもとに検討、実施している。

今後とも、子どもたちの交通安全の確保に向けた情報共有や対応を協議していくとともに、教育委員会としても、ブロック塀や空き家などの危険性にも目を向けるなど、何が必要でどのようなことができるか、改めて検討していきたい。

アフターコロナへの経済対策

問

長引くコロナ感染症については議論が進んでおり、まもなくインフルエンザと同等の扱いとなるのではないかと想像する。アフターコロナを想定し、教育、医療、福祉等々を多岐に渡って検討しながら施策を進める必要があると思うが、特に経済への対策をどのように考えているか。

答

商工観光課長

町としてさまざまなコロナ禍における経済対策を講じてきた。しかしながら、依然として厳しい状況にある事業者への経済支援対策として、物価高騰等対策支援事業を提案した。県の事業に上乗せするかたちで、町内の法人、個人事業者を支

援する。

観光面においては、両町が連携し小豆島が一体となつて、観光客に選ばれる観光地を目指すほか、官民連携して観光客の受け入れ態勢を整える。

地域雇用においては、「地域雇用活性化推進事業」により、企業と連携しながら雇を生み出すことで、地域経済の活性化を図っていく。

問

経済対策に取り組むうえで、土庄町中小企業振興基本条例の目的を再認識し、関係機関との連携に取り組む必要があるのではないか。

答

町長

地域の活性化と、疲弊した経済を取り戻すためには、この条例の

意

目的を再認識し、先進地の事例の調査や、中小企業同友会、商工会、香川県産業支援財団、金融機関、小豆島町とも連携しながら企業振興に取り組む。

観光産業において、町の宿泊施設が減少している。高付加価値事業も活用して民泊の促進を考えてほしい。





みきとしあき
三木俊明 議員



勇気を持って岡野色を 新年度予算方針

問

町長がどのような方針で岡野色を打ち出すのか、町民は強い期待と関心を寄せている。そこで、問う。
策定中の第7次総合計画で、どのような意見が出されているか。

答

企画財政課長

暮らしやすさや、地方創生に関する意見が多い。住みやすく魅力ある町であり続けるための予算編成に努める。

問

町民は町に愛着はあるが、医療や生活環境に不安を抱いている。社会活動団体・福祉団

体等の補助金の編成方針は。

答

生涯学習課長

自主性、独自性、継続性といった観点や地域への貢献度なども総合的に勘案し、適切に対応していく。

問

町のために社会活動を頑張っている方々の意欲を削がない予算編成をお願いする。社会福祉活動拠点の整備は。

答

健康福祉課長

計画策定等による議論を踏まえるとともに、関係団体や利用者の意見を聞きながら検討する。

意

検討したが、実施に至らなかったという事にならないようお願いする。
町民は、町長に強い期待と関心を寄せている。勇気を持ってやり遂げていただきたい。

自主財源確保は官民協働で

問

地方財政が困窮する中、自主財源確保の政策を打ち出すべきと考える。町財政の見通しは。

答

企画財政課長

人口減少や地価の下落により町税及びその他の歳入は減少傾向にある。財政調整基金も令和8年度に向けて減少見込み。

問

新たな自主財源確保の政策はあるか。

答

企画財政課長

ふるさと納税による寄附金収入は年々増加傾向にあり、新たに旅先納税を開始する。また、未利用の町有地の有効活用を目指してサウナ型市場調査に取り組んでおり、町有地の売却または貸付に発展する可能性がある。

問

島外者任せの政策であり、確実性と持続性に乏しいものである。提案として、住民参加型公募地方債を発行し、住民の求める施策を住民のポトムアップで実現する考えはないか。「共に考え、共に創る」の第一歩ではないか。

答

企画財政課長

金融商品性において優位性が低下している。借入利率が優遇されている公的資金を活用している。

答

町長

町民が大変苦しい中、購入意欲があるか、事業について理解していただけるかも懸念される。

意

この提案は島の未来への投資の提案である。小豆島町と共同で行



い、救急艇の導入、安心して子どもを産み育てられる産科医・小児科医確保の基金等、島民の共通した問題解決のためなら、理解が得られるのではないかと。島民と行政が力を合わせ解決していく。この提案を「絵にかいた餅にするのか、10年先の祝い餅にするのか」は、われわれの責任である。
町長には是非とも先頭に立って、舵取りをしていただきたい。

島環境を生かした学校づくり

鈴木美香 議員



問

土庄、小豆島両町と両町教育委員会が後援した「夢みる小学校」が11月サンオーブで上映された。この学校は「宿題がない、テストがない、先生がいない」など独特で、スローガンは「まず、子どもを幸せにしよう。全てはそのあとに続く」というもの。その学校のドキュメンタリー映画である。

答

教育総務課長

「アクティブラーニング（自主的探究）」を重視した大変個性的な教育方針で知られる3つの学校の取材を通じ、教育現場におけるユニークな取り組みを紹介したものや聞く。土庄町でも、島の環境を活かし人間力を育む教育にさまざまな取り組みを取り組んでおり、子供の成長を加味し、島でしかできない教育を目指している。例えば、田植えや稲刈り、玉ねぎ収穫、ジャガイモ掘りなど全学年にわたり、自然の中で体験できる活動を多く行っている。宿題がない、テストがない等の教育方針はさまざまな意見があり、町では採用する予定はない。

問

まだ道路拡張工事は未着工である。福祉会館は使えていたのでは。この事業計画は妥当か。

答

建設課長

道路改良事業は、災害時の業務継続性の確保及び迅速かつ確実な災害対応を図るため、庁舎へのアプローチ道路を複数ルート確保するものである。関係者に県外在住者が多く、時間を要しているが、必要かつ妥当な事業だ。

問

いつ、どんなメンバーの会議に諮ったか。

答

生涯学習課長

令和3年1月5日の庁内会議で決定。メンバーは、当時の三枝町長、教育長、参事兼企画課長、総務課長、健康福祉課長、生涯学習課長の6名。（※役職等は当時）

問

異論は。

答

生涯学習課長

その時点で商工会が総合福祉会館に移転するという結論となっていた。

問

商工会は5年以内で移転すると報告されているが、その後総合福祉会館は。

答

生涯学習課長

5年をめどに移転を考えていると聞いているが、その時点で考える。

意

早く商工会に移転してもらい本来の目的で使用してもらいたい。



総合福祉会館



ふくもと こうた
福本耕太 議員



物価高騰支援策として、 大学生と専門学校生に 一人1万円の支給を

問

コロナ感染症や物価高騰で苦しむ大学生と専門学校生に、一人1万円を支給してはどうかという提案をしていたが、先ほど小川議員の質問の際に、町長から支給を実施する旨の答弁があった。

住民の所に、しっかりと支援が届く方法で実施するべきだ。

令和2年に実施した給付金については、福本議員が言うような対象としたことがあった。

実施方法については、他市町も参考にし、例えばホームページで公募するとか、広報で周知するなど、申請の方法を検討していく。

答

教育総務課長



学校給食無償化及び 負担軽減にむけた取り組みを

問

今年6月に開かれた教育民生常任委員会において、「学校給食無料化にむけた取り組みを推進するように」という意見が示された。町もこれに対し、検討する姿勢を見せたが、その後の進捗状況はどうなっているか。

答

教育総務課長

年間4000万円の経費が継続にかかること。また、小豆島町の実施理由の1つである「未収金に係る業務負担」が、本町では発生していないことなどを総合的に勘案した結果、現段階では実施しない考えだ。

問

現制度では、子どもが多い家庭ほど、給食費の世帯負担が、重くなるのではないか。

答

教育総務課長

子どもが多い世帯ほど給食費はかかる。

意

少子化は、わが町にとって非常に大きな問題であり、その解消に努力しているとこころだが、子どもが多い世帯ほど負担が重くなる現制度は、改善していか

なければいけない。また、未収金は発生していないということだが、集金に係る業務負担そのものが問題だ。教育民生常任委員会でも、委員の意思が示されたように、何もしないのではなく少しでも前進させるべきだ。

そこで提案として、まず2人目以降の子どもの学校給食費を無償にすることから始めてはどうか。これならば、子どもの多い世帯ほど負担が重くなる問題は解消できる。財政調整基金（貯金）は20億円あり、財源はある。

その他の質問

- ・旧土庄高校のグラウンドについて、一刻も早く使用できるよう整備を
- ・民間住宅のリフォームに助成を
- ・土庄港駐車場の無料化及び値下げを

まちの 元気印

オリーブの島児童合唱団



今回は、小学校校歌や童謡を中心とした合唱で活動している「オリーブの島児童合唱団」にお話しをお伺いしました。

Q 活動を始めたきっかけは。

A 平成13年に小豆島童謡音楽祭が開催された際に寄せられた、「地元で児童合唱団を「音楽を通して子どもたちの健全育成に取り組みたい」という声にこたえて結成されました。旧小学校の校歌を未来の子どもたちのために歌い継ぐことを主な目的として、校歌と童謡を中心に歌っています。

Q 団員数は。

A 高橋先生の指導の下、3歳から18歳の児童を対象として、現在、小学生6人、高校生2人の計8人の団員が在籍しています。

以前はもっとたくさんの方がいましたが、子どもの数の減少など、だんだん少なくなりました。

Q 活動の内容は。

A 普段は月に2回程

土庄町音楽フェスティバル



度、イベントなどの発表前には毎週水曜日に練習しています。発表の場として、9月の小豆島童謡音楽祭、12月の土庄町音楽フェスティバルなどがあります。ただ、それにより中止が相次ぎ、約2年間、発表することができませんでした。

久しぶりに皆さまの前で歌うことができたのが、令和4年6月に開催されたしゅうどしまフットピアフェアです。そこでは、閉校した7つの小学校の校歌を披露しました。校歌はすごく好評で、来場者の方々にたいへん喜んでいただきました。

Q 活動で苦労していることは。

A 前述のように、団員数の減少です。団員が多ければ、色々な合唱ができると思います。

Q 今後の目標は。

A 2月11日に高松のレクザムホール(香川県県民ホール)で開催される「香川ジュニアコーラスフェスティバル2023」に出演します。コロナ対策として無観客での開催となりますが、後日に動画配信されることですので、ぜひご覧ください。

団員は少ないですが、みんな歌うことが好きで、一生懸命に楽しく歌っています。イベントにももっと参加したいです。で、出演依頼、また、入団してみたいという方はぜひお気軽に中央公民館までお声がけください。

議会を傍聴してみませんか？

次回定例会は**3月上旬**の予定です。
場所：土庄町役場 4階 議場
詳しくは議会事務局へ
☎(0879)62-7011

日程等は町ホームページで2月中旬頃にお知らせします。



議会だよりについて、良い点、悪い点など、皆さまのご意見をお聞かせください。
FAX(0879)62-8303

子どもたちの歌声を聴いていると、元気をもらえました。閉校した学校の校歌が歌われているのを聞かされたのは、素晴らしいことだと思います。校歌を未来へ継いでくれるのは、素晴らしいことだと思います。ずっと続いていくよう頑張ってください。



編集後記

新年になっても、ロシアの侵略戦争は、罪の無い数多くの人たちの尊い命を奪い続けています。平和の大切さが身に染み入ります。世界中のエネルギーコスト、生活必需品、あらゆるものの価格の高騰は、私たちの生活を脅かしています。

新型コロナウイルスの感染の流行も止まる気配がありません。残念ですが、死者数も過去最高の水準に達しています。日本政府はもとより、県、町行政、われわれ町議会、医療機関等の関係者すべてがより緊密に連携し、町民の皆さまの命と暮らしを守るために全力を尽くさなければなりません。皆さまが笑顔で新年の春を迎えられることを心から祈念いたします。

《大野 一行 記》

委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	議会広報特別委員会
濱野 良一	木場 隆司	井藤 茂信	大野 一行	三木 俊明	福本 耕太	高橋 正博